

日本原子力学会核燃料部会 第28回核燃料部会総会議事録

日時 : 平成19年3月28日(水)12:00~12:30
場所 : 名古屋大学
出席者 : 約20名

岩田部会長の開会挨拶の後に、庶務担当から配布資料に沿って活動報告、平成18年度予算収支予想および平成19年度予算案等の説明を行い、承認された。また、説明後に会場から質問、コメントを頂いた。

1. 活動報告

(1) 総会: 平成18年9月27日(水) 北海道大学
平成19年3月28日(水) 名古屋大学

(2) 運営委員会 :
平成18年度第1回 平成18年5月17日(水)
平成18年度第2回 平成18年7月13日(木)
平成18年度第3回 平成18年9月27日(水)
平成18年度第4回 平成18年12月14日(木)
平成18年度第5回 平成19年3月28日(水)

(3) 部会企画セッションプログラム

a. 平成18年9月27日 13:00~15:30 (秋の大会 於:北海道大学)

「高燃焼度化と核燃料サイクル」 座長(東大)岩田修一

(a) 高燃焼度化の現状と展望 (原電)松浦 豊

(b) 高燃焼度燃料研究開発の現状(原燃工)村田 保

(c) 高燃焼度化とバックエンド (九大)稲垣八穂広

(d) 高速炉への移行期とMOX燃料再処理・バックエンド (JAEA)河田東海夫

b. 平成19年3月29日 12:00~16:30 (春の年会 於:名古屋大学)

(核融合工学部会, 核燃料部会, 材料部会合同)

高度化原子力エネルギーシステムにおける燃料・材料問題に関する日韓セミナー

「高度化原子力エネルギーシステムにおける燃料・材料問題」

(a) Fuels for Fission Reactors / Chairperson (JAEA) Toyoshi Fuketa

(b) Materials for Fast Reactors / Chairperson (Kyoto Univ.) Akira Kohyama

(c) Blanket Materials for Fusion Reactors / Chairperson (Kyoto Univ.) Satoshi

Konishi

(4) 第21回核燃料部会夏期セミナー(材料部会との合同開催)

平成18年7月13日(水)~15日(土) 於、熊本県「グリーンピア南阿蘇」

(5) 研究専門委員会

『核燃料技術基盤の高度化』研究専門委員会

[主査](JAEA)石島清見殿 [設置期間] 平成17年6月1日~平成19年5

月31日

『先進的原子力システムにおける燃料・材料』研究専門委員会

[主査](東海大)山脇道夫殿 [設置期間] 平成18年4月1日~平成20年

3月31日

2. 平成18年度予算収支予想および平成19年度予算案 —— [添付資料](#)参照

3. 部会長交代(平成17年度第五回運営委員会承認事項)

新部会長: 岩田 修一 (H18.11.1付)

4. 運営委員

(1) 平成18年度中の運営委員の交代

(シルコプロダクツ)若松 竜治 → (三菱マテリアル)磯部 毅 (H18.4.1付)
 (東京電力)大澤 彰 → (東京電力)阿部 守康 (H18.7.1付)
 (日本原燃)米田 守宏 → (日本原燃)三島 毅 (H18.7.1付)

(2) 平成18年度業務担当

担当		平成18年度担当者
広報 ホームページ 部会報		[名大] 松井委員 [原燃工] 来山委員 [三菱マテリアル] 磯部委員
国際活動		山本副部長、[電中研] 木下委員、 [JAEA] 更田委員
国内企画 (横断活動、年会時企画)		[北大] 佐藤委員、[JNES] 緒方委員
庶務幹事(財務含む)		[東大] 寺井委員、[中部電力] 野田委員
夏期セミナー幹事		[阪大] 山中委員、[JNFL] 米田委員
部会代表	部会等運営委員	[GNF-J]山本副部長
	評議員	[東大]岩田委員、[GNF-J]山本副部長

5. 平成19年度活動予定

- (1) 第23回夏期セミナー：平成19年7月19日(木)～21日(土)開催。大町温泉郷(長野県)。
- (2) 会報：第43-1号(平成19年9月頃発行予定)
第43-2号(平成20年1月頃発行予定)
- (3) 講演会：未定
- (4) 国際会議：未定
- (5) 総会：平成19年秋の大会時 (平成19年9月27日～29日)
平成20年春の年会時 (平成20年3月頃)
- (6) 運営委員会：年度内に5回程度開催予定

6. 質問、コメント

- ・各部会の総会が同時に開催されており、出席したい総会に出席することができない。時間帯をずらし、人が集まる工夫をして欲しい。
- ・産官学で、本音で話し合う議論の場が必要である。また、推進側と規制側で議論する場を設ける必要がある。
- ・定検中の制御棒引抜臨界事故が発生しており、日本でも米国のNRCやNEIのようなシンクタンクが必要であると痛感する。

以上

過去の総会議事録の一覧はこちらです。

[過去の総会議事録一覧](#)

[もどる](#)